

スラバヤ市における飲料水供給改善事業にかかる案件化調査

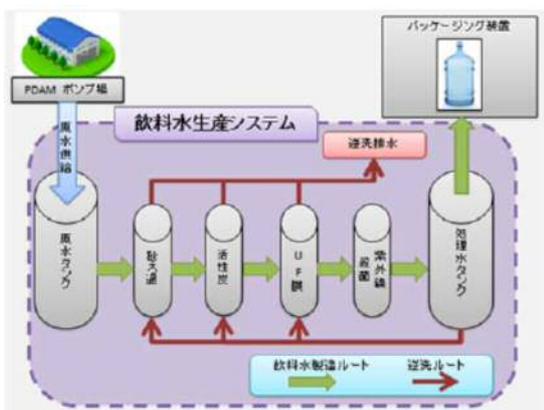
～ JICA 「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」 ～

1 事業の概要

インドネシア共和国第2の都市であるスラバヤ市では、水道整備は進んでいるものの、施設の老朽化等の問題からその水質は飲料水の基準を満たしておらず、住民は飲用としてガロン水やペットボトル水を購入しています。しかし、収入に占める飲料水代が高く、家計を圧迫しており、収入が低い世帯では飲料水の購入が難しいため安全な水を飲むことができない状況にあります。

そこで、安全な水供給が困難な地区において、水質に応じた小規模分散型浄水システムの普及、主要な供給手段であるガロン水の安全・安価な生産体制の構築、生協等を通じた販売ルートの確保による、住民の経済的負担と健康リスクの軽減を目指し、当事業の実施可能性を調査します。

- 2 受注企業 : 株式会社いしかわエンジニアリング
- 3 連携団体 : 石川金属工業株式会社、株式会社いしかわファルテック、株式会社野村工電社、株式会社地域計画連合、北九州市
- 4 事業費概算額 : 約 3,000 万円
- 5 実施期間 : 平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月
- 6 相手機関 : スラバヤ市 水道公社および生協局



【飲料水生産システム】



【ガロン水】